

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	特定非営利活動法人ルーツ・プロジェクト
2 貴社の取組状況について	<p>(1) 男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景 近年、社会的な男性の育児参加への関心の高さから、法人としても男性の育児参加への機運が高まり、男性の育休促進に取り組むきっかけとなりました。</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 就業規則の改定により、最新の育児休業制度に対応した内容を周知。</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 長期休暇により、人員配置を崩さないよう、法人全体でカバーし、早めにスケジュールを調整し、準備を進めていった。</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 担当業務の引継ぎを余裕をもって行ってもらい、必要に応じて管理者等が業務応援できる体制を整えました。</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 育児休業は分割取得が可能となったため、個々の子育てスタイルによって細かな対応が定着には必要と考えております。</p>

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算 55 日間
2 育児休業の取得について	<p>(1) 育児休業を取得したきっかけ 祖父母が遠方のためサポートが受けられず子育てが妻のワコエハになってしまつたため</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと 病院受診の頻度が多く、お互いのサポートのためにも助かりました。</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 普段の業務からこまめに連絡をとり、不備のないようにした。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること 家事を中心に育休を過ごしたことが、時間管理を今が以上に意識するようになった。</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス 少いことでも動いてあげると妻は大変助かると話されました。 特に授乳時は子どものことが少いので、身のまわりのことを中心にサポートするといいと思います。</p>